

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	環境厚生常任委員会	会議場所	第3委員会室
		担当職員	小野
日 時	令和2年9月15日(火曜日)	開 議	午後 2 時 00 分
		閉 議	午後 2 時 27 分
出席委員	◎富谷 ○並河 長澤 大塚 三宅 小松 平本 西口		
理事者 出席者	【子ども未来部】高橋部長 [子育て支援課]森岡課長、酒井こども政策係長		
事務局	山内事務局長、小野主任		
傍聴者	市民 0名	報道関係者 0名	議員 0名

## 会 議 の 概 要

### 1 開 議

### 2 事務局日程説明

### 3 議案審査

[理事者入室] こども未来部

#### (1) 第1号議案 令和2年度亀岡市一般会計補正予算(第5号)

<こども未来部長>

(あいさつ)

<子育て支援課長>

(資料に基づき説明)

～14:04

[質疑]

<西口委員>

前回の説明では、内容が決まっていない状態で予算を計上されたと受け止めた。また、資料や判断材料もない状態で採決を行うことはできない。本日資料が提出されているが、参考資料であっても最初から提出するべきである。何でも予算を計上しておけば認めてもらえるという、あまりにも安易な考えではないか。こういうことは、二度とあってはならない。積み上げた数字があって、どれぐらいランニングコストがかかるのか、将来的にどのような課題があるのかということがわかって初めて審議ができる。そこで子育てに関する見通しの話があれば、何も言うことはない。常に納得できる資料と説明を準備していただきたい。

<こども未来部長>

審議が円滑に進むよう、資料を取捨選択したところであるが、説明側の立場で準備

を行ったため、審議に必要な資料を欠いてしまい申し訳なく思っている。

<子育て支援課長>

先ほど配付した参考資料であるが、これは過去に作成したもので、縮尺や現状との違いがあり、今回の整備を行った後の状況と異なる可能性があることから、この資料の提出をためらったものである。これまでの取組を経過として知っていただくために資料を提出するべきであったと反省している。

<三宅委員>

補助金を申請する段階で委員会に報告するべきである。

<平本委員>

計画性をもって進めていると思うが、予算ありきで事業が進んでいくと、せっかくの補助金が有効活用されるか不安になるため、事業計画があるということを周知したうえで進めていただきたい。

<こども未来部長>

各委員から指摘があったとおり、今後は円滑な審議となるよう丁寧な説明に努めていきたいと考えている。

<西口委員>

安全を最優先に考えて進めていただきたい。

[理事者退室]

～14:18

#### 4 討論～採決

[討論なし]

[採決]

第1号議案	挙手	全員	可決
第2号議案	挙手	全員	可決
第3号議案	挙手	全員	可決
第5号議案	挙手	全員	可決

[指摘要望事項]

<西口委員>

こどものあそびば整備事業は設計の段階で耐震性、安全性や維持管理の費用がわかり、それを基に予算審議を行うものであるが、現時点で何もわかっていないので審議をすることはできない。

<平本委員>

議員が判断できるだけの最低限の材料を揃えていただくよう指摘要望事項か委員長報告に記載してはどうか。

<小松委員>

議会の取組として、意見を集約して指摘要望としてはどうか。

<並河委員長>

今回の意見を集約し、指摘要望事項としてよいか。

<了>

～14:27

## 8 その他

<並河委員長>

次回は9月29日に委員長報告の確認を行う。

散会 ～14:27